景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

郵送による無記名アンケート方式
調査時点　令和1年9月2日発送
令和1年9月12日投函期限
調査対象　信用保証利用先1,500企業
有効回答数　358 企業（回答率　23.9% ）

※ 当期：R01年7月～9月実績見込
次期：R01年10月～12月期予測

【DI値について】

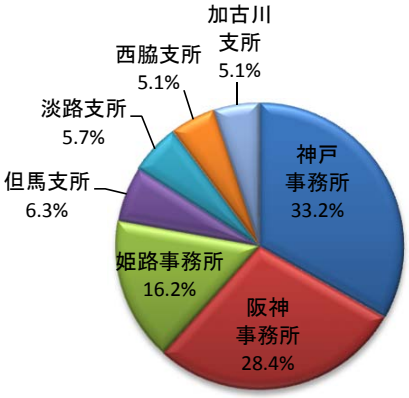
◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

Ⅰ．貴社の概要について

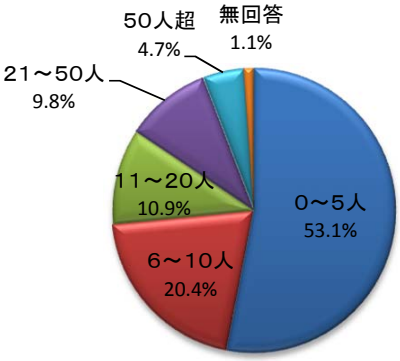
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	117	33.2%
阪神事務所	100	28.4%
姫路事務所	57	16.2%
但馬支所	22	6.3%
淡路支所	20	5.7%
西脇支所	18	5.1%
加古川支所	18	5.1%
小計	352	100.0%
地域不明・無回答	6	－
合計	358	－



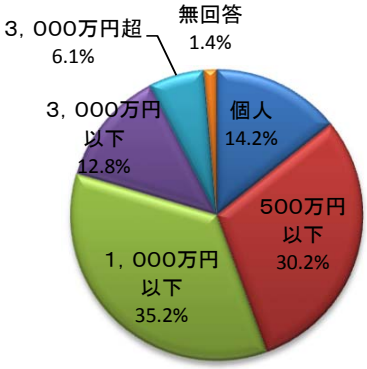
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	190	53.1%
6～10人	73	20.4%
11～20人	39	10.9%
21～50人	35	9.8%
50人超	17	4.7%
無回答	4	1.1%
合計	358	100.0%



資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

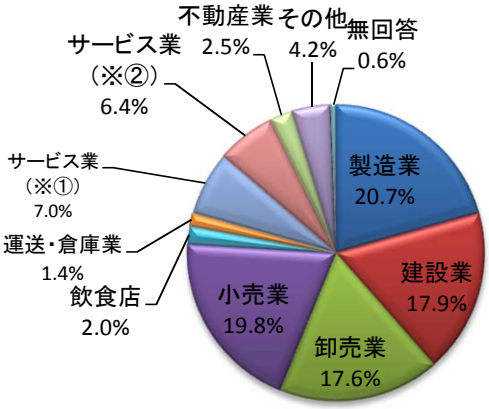
資本金	回答数	構成比
個人	51	14.2%
500万円以下	108	30.2%
1，000万円以下	126	35.2%
3，000万円以下	46	12.8%
3，000万円超	22	6.1%
無回答	5	1.4%
総計	358	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	74	20.7%
建設業	64	17.9%
卸売業	63	17.6%
小売業	71	19.8%
飲食店	7	2.0%
運送・倉庫業	5	1.4%
サービス業（※①）	25	7.0%
サービス業（※②）	23	6.4%
不動産業	9	2.5%
その他	15	4.2%
無回答	2	0.6%
合計	358	100.0%

※① 事業者を対象
※② 一般消費者を対象



Ⅱ．貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

（1）当期（19年7～9月期）は、前期（19年4～6月期）に比べどのような状況ですか。
（2）次期（19年10～12月期）は、当期（19年7～9月期）に比べどう思いますか。

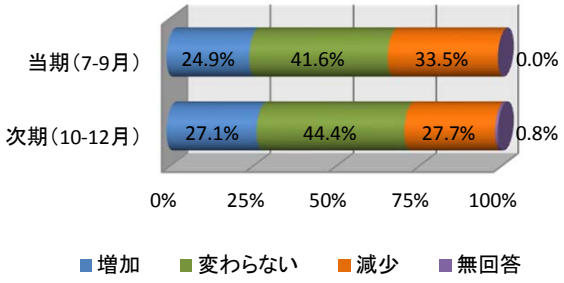
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	89	24.9%
変わらない	149	41.6%
減少した	120	33.5%
無回答	0	0.0%
総計	358	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	97	27.1%
変わらないと思う	159	44.4%
減少すると思う	99	27.7%
無回答	3	0.8%
総計	358	100.0%



生産・売上DI（増加－減少）

調査時期（実績）	2017年7～9月	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月（見込み）
兵庫県	▲ 3.0	▲ 5.2	▲ 9.4	▲ 4.5	▲ 5.4	▲ 0.5	▲ 15.8	▲ 6.6	▲8.6	▲ 0.6

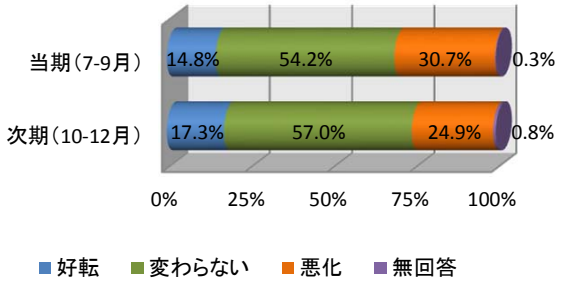
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	53	14.8%
変わらない	194	54.2%
悪化した	110	30.7%
無回答	1	0.3%
総計	358	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	62	17.3%
変わらないと思う	204	57.0%
悪化すると思う	89	24.9%
無回答	3	0.8%
総計	358	100.0%



採算DI（好転－悪化）

調査時期（実績）	2017年7～9月	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月（見込み）
兵庫県	▲ 3.6	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 10.6	▲ 13.5	▲ 4.8	▲ 13.9	▲ 12.3	▲ 15.9	▲ 7.5

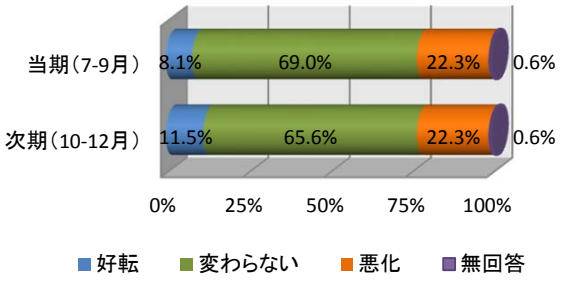
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	29	8.1%
変わらない	247	69.0%
悪化した	80	22.3%
無回答	2	0.6%
総計	358	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	41	11.5%
変わらないと思う	235	65.6%
悪化すると思う	80	22.3%
無回答	2	0.6%
総計	358	100.0%



資金繰りDI(好転－悪化)

調査時期(実績)	2017年7～9月	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月(見込み)
兵庫県	▲ 4.3	▲ 7.9	▲ 8.1	▲ 11.3	▲ 6.0	▲ 7.5	▲ 12.0	▲ 9.1	▲ 14.2	▲ 10.9

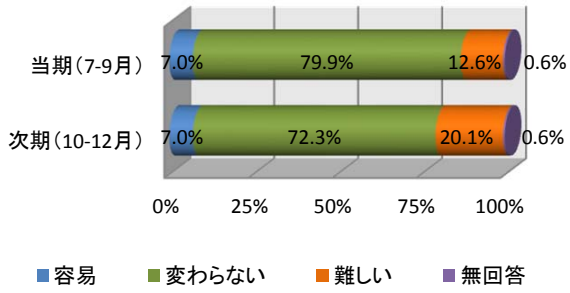
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	25	7.0%
変わらない	286	79.9%
難しくなった	45	12.6%
無回答	2	0.6%
総計	358	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	25	7.0%
変わらないと思う	259	72.3%
難しくなると思う	72	20.1%
無回答	2	0.6%
総計	358	100.0%



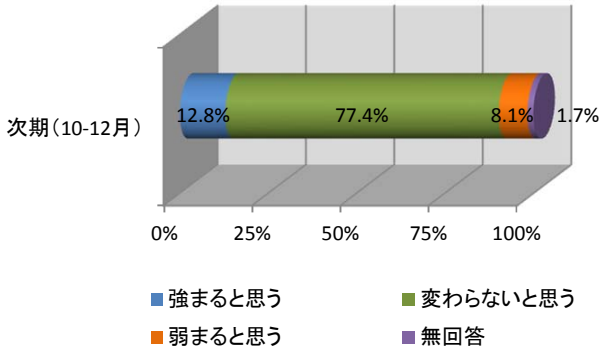
借入難易感DI(容易－難しい)

調査時期(実績)	2017年7～9月	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月(見込み)
兵庫県	5.6	▲ 3.8	▲ 1.5	▲ 3.5	▲ 0.9	▲ 1.9	▲ 2.4	▲ 0.9	▲ 5.6	▲ 13.1

当期(7-9月)では、全ての項目でDI値が前回調査(4-6月)に比べ悪化していますが、次期(10-12月)では「生産・売上」「採算」「資金繰り」DI値は改善する見込みとなっています。
「借入難易感」DI値は次期(10-12月)も悪化する見込みです。

【金融機関からの信用保証付要請】
次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	46	12.8%
変わらないと思う	277	77.4%
弱まると思う	29	8.1%
無回答	6	1.7%
総計	358	100.0%



信用保証付要請DI（強まる－弱まる）

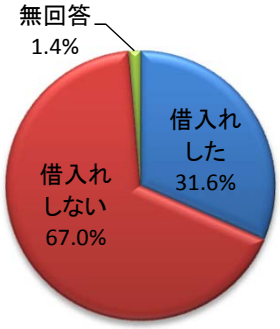
調査時期（見込み）	2017年4～6月（7～9月）	2017年7～9月（10～12月）	2017年10～12月（1～3月）	2018年1～3月（4～6月）	2018年4～6月（7～9月）	2018年7～9月（10～12月）	2018年10～12月（1～3月）	2019年1～3月（4～6月）	2019年4～6月（7～9月）	2019年7～9月（10～12月）
兵庫県	6.9	5.4	1.4	5.4	▲ 0.9	4.0	7.8	4.3	7.7	4.7

金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ.当期（19年7～9月期）の借入れ（実績見込）についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

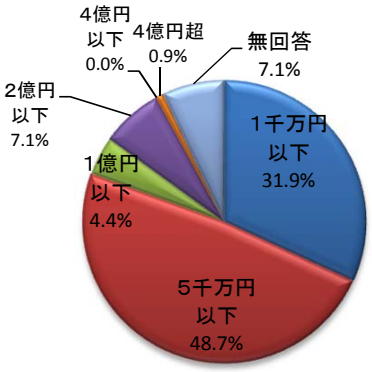
	19年7～9月期		19年4～6月期	19年1～3月期	18年10～12月期	18年7～9月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	113	31.6%	32.0%	31.8%	36.1%	33.8%
借入れしない	240	67.0%	67.4%	67.9%	63.4%	64.2%
無回答	5	1.4%	0.6%	0.3%	0.5%	2.0%
総計	358	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期の借入れは、前回調査と比べ、0.4ポイント減少しています。

当期に借入れした総額はいくらですか。

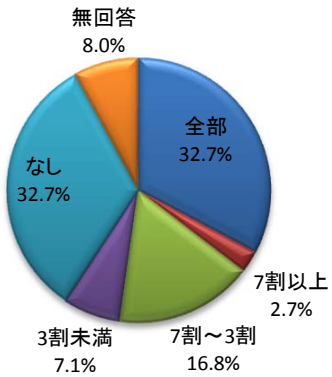
	19年7～9月期		19年4～6月期	19年1～3月期	18年10～12月期	18年7～9月期
借入れ総額	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	36	31.9%	44.6%	41.9%	40.7%	36.4%
5千万円以下	55	48.7%	38.4%	44.4%	44.4%	40.7%
1億円以下	5	4.4%	4.5%	6.0%	5.2%	9.3%
2億円以下	8	7.1%	1.8%	1.7%	2.2%	4.2%
4億円以下	0	0.0%	1.8%	0.9%	2.2%	1.7%
4億円超	1	0.9%	0.9%	0.9%	0.0%	3.4%
無回答	8	7.1%	8.0%	4.3%	5.2%	4.2%
総計	113	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期の借入総額は「1千万以下」「5千万円以下」の合計が80.6%となり、構成比の大半を占めています。

当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

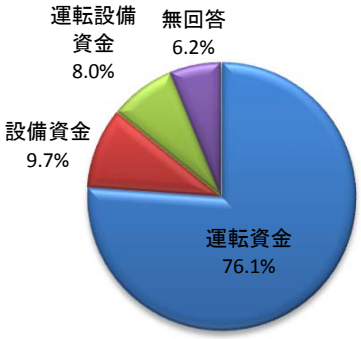
	19年7～9月期		19年4～6月期	19年1～3月期	18年10～12月期	18年7～9月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	37	32.7%	32.1%	31.6%	38.5%	35.6%
7割以上	3	2.7%	7.1%	10.3%	8.1%	5.9%
7割～3割	19	16.8%	10.7%	12.8%	13.3%	15.3%
3割未満	8	7.1%	3.6%	1.7%	6.7%	4.2%
なし	37	32.7%	37.5%	39.3%	25.9%	34.7%
無回答	9	8.0%	8.9%	4.3%	7.4%	4.2%
総計	113	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



前回調査と比べ、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答が、0.6ポイント増加し、「なし」が4.8ポイント減少しました。

当期借入金の目的は何ですか。

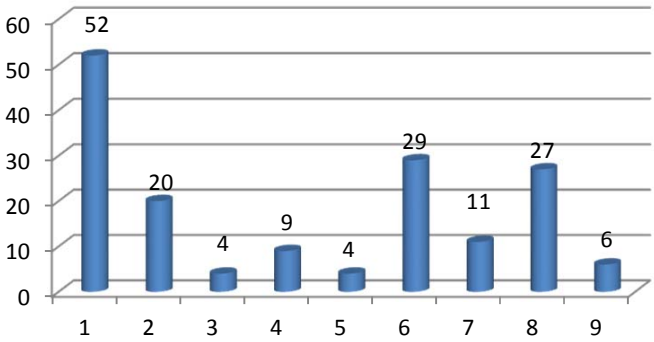
選択肢	回答数	構成比
運転資金	86	76.1%
設備資金	11	9.7%
運転設備資金	9	8.0%
無回答	7	6.2%
総計	113	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか（複数回答）。

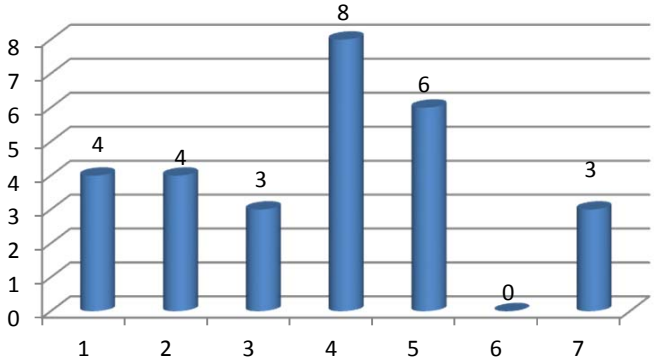
選択肢		回答数
1	***既往借入の借換え***	***52***
2	売上減少・赤字補填	20
3	過剰在庫対応	4
4	支払条件短縮対応	9
5	回収条件悪化対応	4
6	売上増加運転資金	29
7	在庫積み増し	11
8	季節運転資金	27
9	その他	6
総計		162



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が最も多く、次いで「売上増加運転資金」「季節運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか（複数回答）。

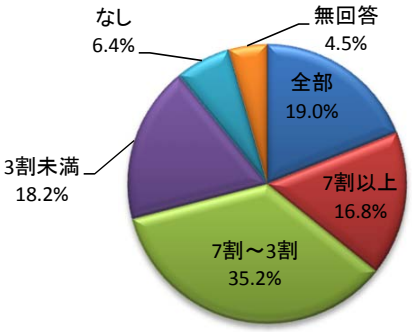
選択肢		回答数
1	新規事業	4
2	生産増強	4
3	合理化・効率化	3
4	設備老朽化に伴う入替	8
5	修理・修繕	6
6	公害防止・環境関連	0
7	その他	3
総計		28



設備資金の種類は、「設備老朽化に伴う入替」が最も多く、次いで「修理・修繕」となっています。

Ⅳ. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末（19年9月末）借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

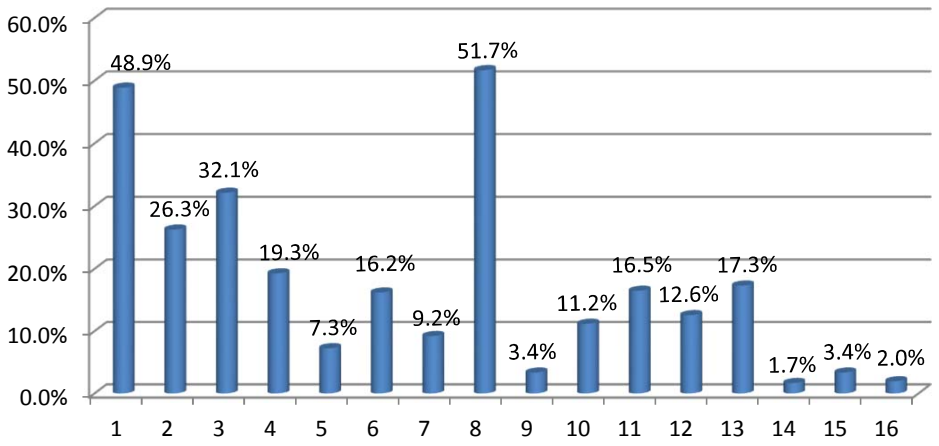
	19年7～9月期		19年4～6月期	19年1～3月期	18年10～12月期	18年7～9月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	68	19.0%	18.0%	21.5%	20.9%	19.8%
7割以上	60	16.8%	15.1%	17.1%	15.2%	17.5%
7割～3割	126	35.2%	34.6%	29.6%	36.1%	31.2%
3割未満	65	18.2%	19.1%	19.0%	16.8%	18.1%
なし	23	6.4%	6.9%	7.3%	4.8%	6.3%
無回答	16	4.5%	6.3%	5.4%	6.1%	7.2%
総計	358	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「全部」「7割以上」「7割～3割」とする割合が増加し、「3割未満」「なし」とする割合が減少しました。

Ⅴ．その他（経営上の課題等）について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢		回答数	回答割合	選択肢		回答数	回答割合
1	***売上・受注の減少***	***175***	***48.9%***	9	過剰在庫	12	3.4%
2	競争激化	94	26.3%	10	設備投資	40	11.2%
3	***コスト高***	***115***	***32.1%***	11	後継者難	59	16.5%
4	業界構造変化	69	19.3%	12	資金調達	45	12.6%
5	取引条件の悪化	26	7.3%	13	借入過多	62	17.3%
6	消費者ニーズの多様化	58	16.2%	14	為替	6	1.7%
7	技術・商品開発	33	9.2%	15	海外景気の減速	12	3.4%
8	***人材・労働力の確保***	***185***	***51.7%***	16	その他	7	2.0%



経営上の課題については、「人材・労働力の確保」、「売上・受注の減少」、「コスト高」が上位となっています。
次いで、「競争激化」「業界構造変化」「借入過多」の順となっています。